

防災ルール（案）

災害は忘れた頃にやってくる！！
常日頃より、災害を想定した行動を
家族で・地域で確認し、災害に備えよう。

まず、自分達家族が助かるために！

- * 家具転倒防止対策の実施。
- * 家族で災害時の避難路・避難場所・連絡体制について確認。
- * 避難は徒歩で。車両移動は厳禁！
- * 家屋の建替え時には、家屋の耐震化の促進と前面道路の幅員確保に協力を。

そして、地域みんなが助かるために！

- 避難路の周知と確保
 避難路の周知と意識共有をはかり、みんなで避難路を確保。
 違法駐車をなくし、避難路沿道の室外機や自動販売機などをしっかり固定。
- 隣近所で協力しながらの避難行動
 日頃から隣近所で交流を深め、避難時に、高齢者や体の不自由な方など、特に助けを必要としている方々を地域で支える体制づくり。

- 地域資源(ひと)の有効活用
 災害時における地域内企業の人的援護。
 協力依頼とルールづくり。

袖触れ合うも
 多少の縁！

- 地域資源(もの)の有効活用
 * 災害時に町会館など公共施設を利用するための体制づくり。

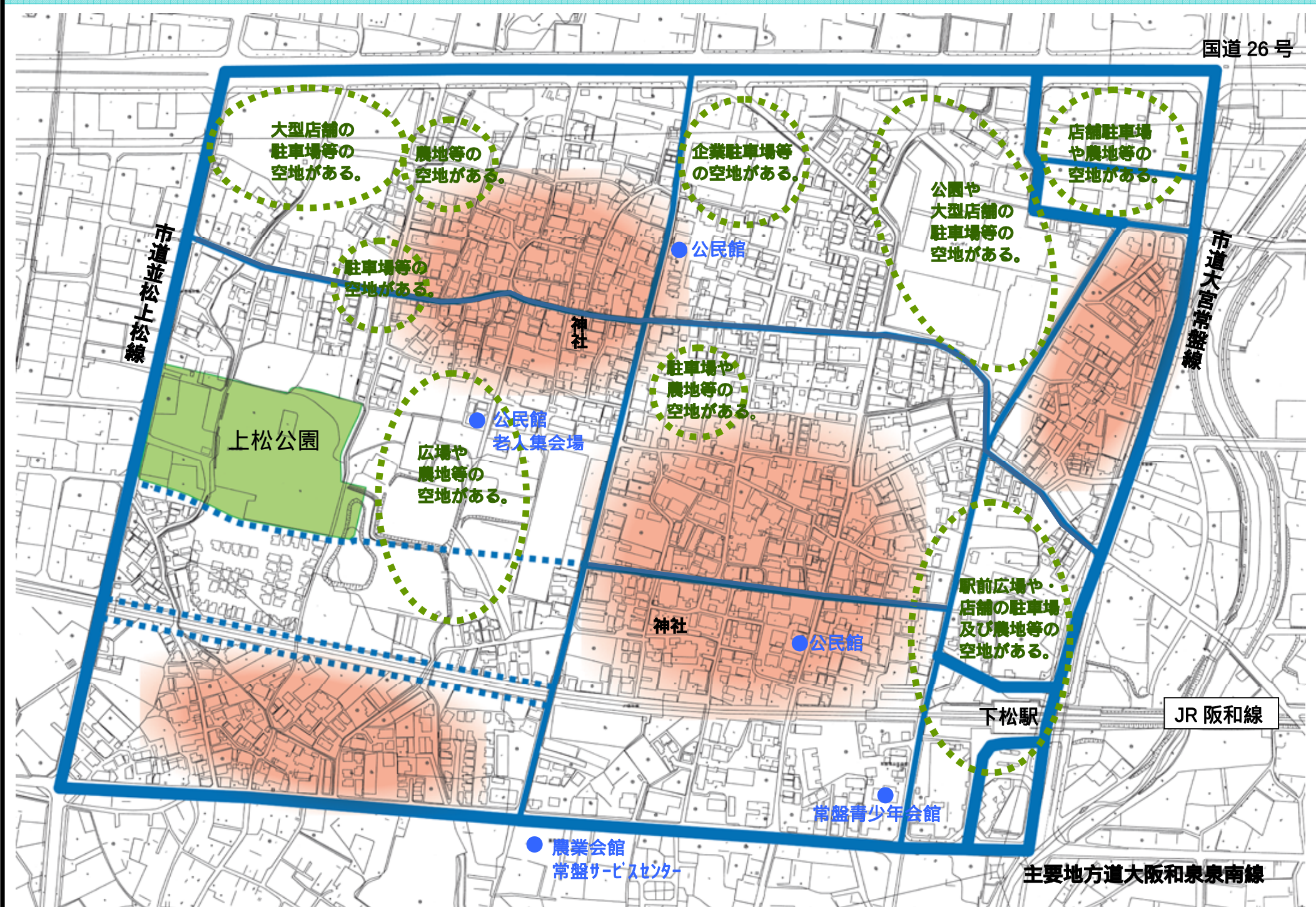
いざという時、鍵の保管場所はどこ？

- * 災害時における地域内商店や工場などの物的援護。
 協力依頼とルールづくり。

災害時に役立つ道具(ロープ・工具など)や
 被災時に必要な物資(食料・燃料・ブルーシートなど)

- * 地域内の井戸の把握と協力依頼。

防災マップ（案）



凡 例

- 避難場所（平成 21 年度；一部開設予定）
- 避難路
- 避難路（事業中）
- 緊急時に一時的に避難可能な空地があるエリア
- 道幅が狭いため、道路沿いの工作物(植木鉢・室外機・自動販売機・ブロック塀等)に特に注意するエリア
- 青少年会館・公民館等